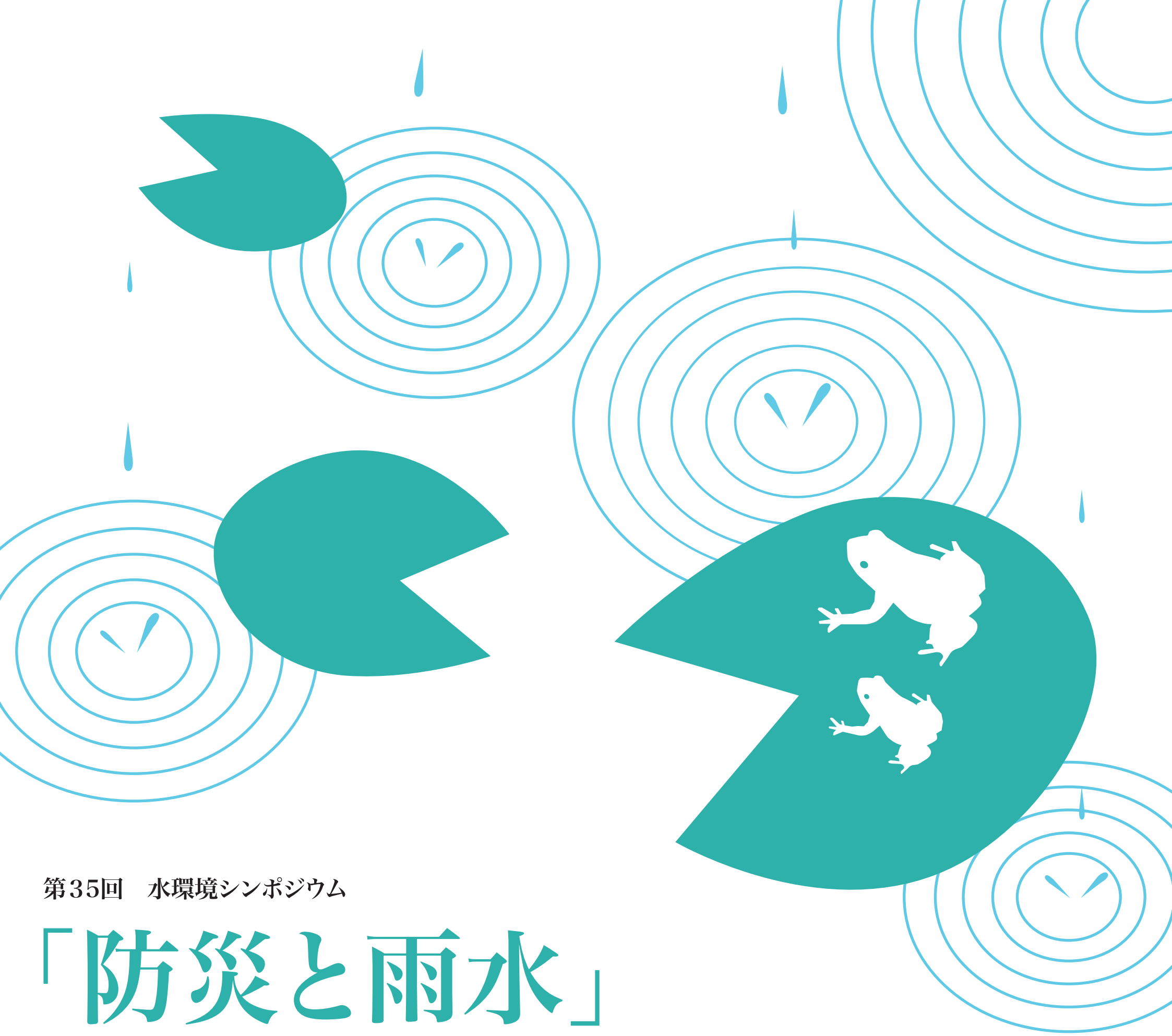




第35回 水環境シンポジウム

# 「防災と雨水」

～「雨水活用建築ガイドライン」の制定と普及に向けて～

東日本大震災は、あらゆる分野でこれまでの基本的な考え方の見直しを迫る多くの課題を投げかけました。日本建築学会においても、全ての部門で見直しが行われました。雨水建築規格化小委員会においては、4年にわたり検討してきた「雨水活用建築ガイドライン」の発行間際に起きた出来事であり、その教訓を加味して7月に発刊いたしました。雨水利用はもともと防災の要素を多く含んでおり、近年の集中豪雨や異常渇水の対策として新たな環境性能を有する「雨水活用建築」の提案を行いました。加えて、放射性物質による雨の汚染などの問題にも対応しなければなりません。本シンポジウムでは、ガイドラインの内容を解説するとともに、その意義や普及について議論を行います。

プログラム

挨拶・主題説明：小瀬博之（水環境運営委員会前主査）

1. 基調講演

岡田誠之（東北文化学園大学教授）：「東日本大地震の体験と雨水」

2. 報告

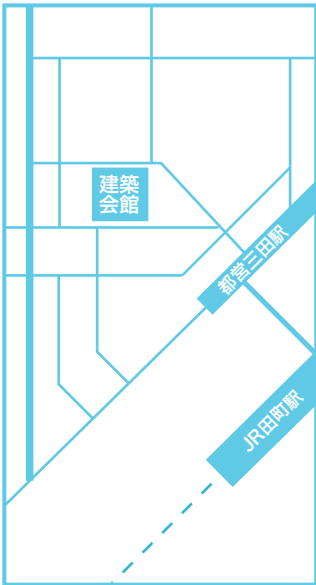
- 1) 神谷博（雨水建築普及小委員会主査）：「雨水活用建築ガイドライン」
- 2) 鈴木敦子（雨水建築普及小委員会）：「雨の建築道」
- 3) 大西和也（雨水建築普及小委員会）：「雨水活用建築製品便覧」

3. パネルディスカッション「雨を活用する新たな建築を目指して」

パネリスト

- 1) 渡邊亮一（福岡大学准教授）：「雨水ハウスの実践」
- 2) 中臣昌広（文京保健所）：「雨水の水質と放射性物質」
- 3) 屋井裕幸（雨水貯留浸透技術協会）：「雨水業の防災支援」
- 4) 和田真治（東京都建設局河川部計画課）：「東京都における雨水浸透貯留に関する取り組み事例」

コーディネーター：神谷博（雨水建築普及小委員会主査）



主催：（社）日本建築学会  
日時：2011年9月17日(土) 13:00 ～ 17:00  
会場：建築会館 大ホール  
JR田町駅、都営地下鉄三田駅 徒歩3分  
〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号  
TEL: 03 3456 2051  
参加費：  
会員1000円、会員外2000円、学生500円  
申し込み：事前申込、定員150名、9月11日締切  
催し物名称、氏名、勤務先、所属、住所、電話番号を  
明記しメールまたはFAXにて申し込み  
日本建築学会・一ノ瀬 ichinose@aij.or.jp  
FAX 03-3456-2058